



平成 26 年 1 月発行 第 56 号

# なかしべつ町

編集発行／社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会  
〒086-1110 標津郡中標津町西 10 条南 9 丁目 1 番地 4  
中標津町総合福祉センター（プラット）  
電話 0153-79-1231 FAX0153-79-1233

# 社協だより



中標津高校「木馬の会」のボランティア活動により、携帯電話の活用方法を末広老人クラブの方が手ほどきを受けました。



ボランティアのつどいで日ごろの活動を披露しました。



## 社協って？

**社会福祉協**議会の略称です。

公共性を持った社会福祉団体です。  
誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指しております。



『社協だより』は共同募金の一部配分金を受けて発行しています。

# 新年のご挨拶



社会福祉法人  
中標津町社会福祉協議会  
会長 西根 辰 美



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい初日の出とともに、健やかなうちに新春をお迎えのことと衷心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から社会福祉協議会の事業運営と推進に對しまして、ご理解とご協力を賜り理事、職員とともに厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年9月、中標津町社会福祉協議会としては、初めてでありますが第63回北海道社会福祉大会を中標津町総合文化会館を主会場に開催し、盛会の中終了することができました。このことは根室管内1市4町の行政や社会福祉協議会をはじめ、町民の皆様、福祉関係に携わる皆様の深いご理解とご協力があったからこそ成功に導びくことが出来たものと心から感謝を申し上げます。

全道各地から参加いただきました皆々様にとりましては、中標津町の商店街をはじめとする街並や開陽台を含めた広大な酪農地帯のすばらしさを堪能するとともに、充実した施設の中での研修に十分に評価を頂いたのではないかと確信しているところです。

私も社会福祉協議会は、今後とも行政と連携のもと、地域福祉を推進する中核組織として、互いに支えあい、笑顔で安心して生活できる街づくりを基本として、地域福祉の向上に努めていくことは勿論であり、現社会福祉法の中でも、その役割が明確にされております。又、地域福祉を推進していくのは、社会福祉事業者であり、民間福祉活動団体、更には、地域に生活する住民が相互に協力するという、地域住民の

参画が不可欠であります。

特に、昨今多発している自然災害に對しては、地域住民の連携の必要性や、日常の備えの重要性を提唱するとともに、常に危機感をもって取り組んでいく所存であります。

今後、町内会、民生委員児童委員協議会等関係団体や町民皆様と協議・連携のもと、各種福祉事業を実施してまいります。これら地域福祉活動を執り進めていくための財源は、全て皆様方からいただいております。日頃から当社会福祉協議会に對する温かいご支援とご協力に對し厚くお礼申し上げます。

私も役員一同、信頼される「社協」づくりのために、町民の皆様が抱えている課題に耳を傾け、一緒になってその解決に向けた行動が必要不可欠のものと考えております。

町民皆様にはより一層のご支援ご協力をお願いするとともに、この一年がご健勝ご多幸でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 第45回中標津町社会福祉大会を開催しました

平成25年11月30日(土)第45回中標津町社会福祉大会を中標津町総合文化会館(しるべっ)で開催しました。

当日は一般参加者や受賞者、ふれあいコーナー参加団体など含め約200名の参加をいただきました。

式典では、地域福祉に貢献された11名に表彰状を贈呈いたしました。受賞者の皆様は、下記のとおりです。

式典後、一昨年の第43回大会でご講演いただきました山田火砂子監督のご家族の実話であり、二人の娘さんとの三人で笑って泣いた『エンジェルがとんだ日』を上映しました。



## 福祉関係団体役員功勞

- 遠藤 忠義 様 (俣落老人クラブ)
- 黒川 静枝 様 (南町新生クラブ)
- 深瀬 満義 様 (西竹老人クラブ)
- 氏家 キヨ子 様 (東中老人クラブ)
- 赤波江 利夫 様 (東泉福老会)
- 鴨志田 武彦 様 (白樺町内会寿クラブ)
- 佐藤 房夫 様 (末広老人クラブ)
- 村井 直行 様 (開陽老人クラブ)
- 故新谷 昭吾 様 (中標津むつみ老人クラブ)

## 社会福祉施設役員功勞

- 末田 英憲 様
- 川島 晴輝 様 [謝辞]
- 鈴木 克弘 様
- 郷 侑志 様
- 社会福祉法人 中標津朋友会
- 石田 康雄 様

## 感謝状 経済的支援

- 殿守 政枝 様
- 佐藤 孝夫 様
- 中司 きみ 様



当日、赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆様ありがとうございました。  
募金額 9,475 円



## ふれあいコーナー

町民ホールでは活動展示紹介や障がい福祉サービス施設による販売が行われ、大きな賑わいがありました。

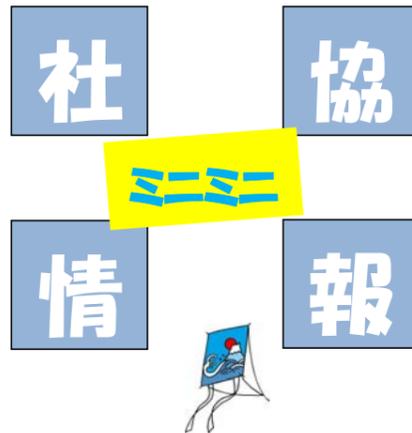


《ぼれぼれの会》 《森の家》 《工房ういんくる》 《くれぱす》

社会福祉法人  
中標津町社会福祉協議会



- 会長 西根 辰 美
- 副会長 小野 弘
- 副会長 渡部 徳 樹
- 常務理事 中野 勝 也
- 理事 岩野 美 津 子
- 理事 小崎 千 城
- 理事 木村 之 弘
- 理事 及川 た だ 子
- 理事 乾 雅 晴
- 理事 上田 進
- 理事 須崎 智
- 監事 野毛 徳 利
- 監事 佐々木 俊 三



**中標津町協会のホームページを**

**リニューアルしました！**

平成25年11月20日、中標津町社会福祉協議会のホームページが新しくなりました！



すでにご覧になった方はおめでとうございます！  
リニューアルしたホームページには「お知らせブログ」の機能も加わり、リアルタイムで様々な情報をお届けできるようになりまし

たムで様々な情報をお届けできるようになりまし

「お知らせブログ」は1日1回更新を目標にして社協の日々の業務、事業やイベントのお知らせ、日常の1コマなどの情報をお伝えしていきます。

そして・・・中標津町社協でも「フェイスブック」始めました！  
ホームページのお知らせブログと連動して様々な情報をお届けしていきます。

パソコンがなくても携帯電話やスマートフォンで簡単に社協の情報がチェックできますので、皆さんの「いいね！」をお待ちしています。

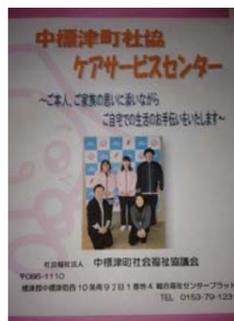
わたしたちも地域住民の皆様と今までも「つながる」関係を築いていくためにホームページとフェイスブックを活用していきま

すので、ぜひチェックしてみてください。だ

**中標津町社協ケアサービスセンターのパンフレットを作成しました！**

この度、中標津町内にお住まいのたくさんの方々に社協が行って

いる介護保険事業を知っていただき、気軽に「相談」いただける様、想いを込めてパンフレットを作りました。公共施設等に配置しておりますので、ぜひ手に取り、ご覧下さい！



**旭第一ふれあいクラブがサロン活動を開始しました**

平成25年12月8日、中標津町社協が進めるサロン活動として6つ目となります旭第一ふれあいクラブが、正式にサロン活動を開始しました。当日は初めに総会が開かれ、当社協の西根会長も出席御祝いし、その後参加された32名の方は歌や体操、いろいろなゲームで楽しい時間を過ごされてい



**中標津町総合福祉センター**

**健康増進室稼働のお知らせ**

中標津町から委託を受け管理運営している健康増進室の利用につきましては、中標津町より平成26年度以降設置している機器の保守点検が出来ないと理由から中止する旨お知らせしておりましたが、利用者皆様から多数のご意見・要望があり、中標津町で検討をしていただいた結果、機器に対し過度な負担をかけない事や、不具合を見つけた時は直ちに連絡してもら



**ボラセン情報**

～中標津町ボランティアセンターからのお知らせ～



**ボランティアのつどいを開催しました**

平成25年10月26日（土）、中標津経済センター（なかまっぷ）で平成25年度ボランティアのつどいを開催しました。ボランティアのつどいは、昨年はボランティア交流会という名前でボランティア活動者のみを対象とした事業でした。今年はボランティア同士のつながりづくりとともにボランティア活動を町民に知っていただく機会として、中標津町ボランティアセンターに登録しているボランティア活動団体や個人14名、ボランティアセンター運営委員5名で構成された実行委員会が企画運営する事業として取り組みました。実行委員会は8月から6回開催し、事業の企画から会場設定や広報の方法、当日の運営を考え、準備を進めてきました。当日は約100名の方が来場し、会場内でパネルなどを使った活動紹介、日頃の活動を団体や個人から披露、参加者全員が円を作って順々に会話していく自由交流とプログラムが進み、参加された方々には中標津町の色々なボランティア活動を知っていただくことができました。



《自由交流の様子》

今回のつどいの結果を踏まえ、来年度にはさらによりよい内容にするために検討を重ねますので、皆様の多くのご参加をお待ちしております。

**福祉レクリエーション講座を開催しました**

平成25年11月2日（土）、中標津経済センター（なかまっぷ）でケアレクリエーション倶楽部 代表 南部 広司 氏を講師に招き、福祉レクリエーション講座を開催しました。参加者の皆様には、高齢者の介護予防に使えるレクリエーションをどのように自分達の活動に取り入れていくかを学んでいただきました。



《都道府県ビンゴの様子》

講座の前半では、福祉レクリエーションの効果、提供する立場の心がまえ、段取りや意味を相手に伝えるタイミングなどについて学びました。後半はチームに分かれて都道府県ビンゴや七福神を揃えるゲームの演習を行い、「考える」ことが脳の刺激になること、またゲームの「楽しさ」を実感しました。

参加された方々からは、「自分の活動に使える」「笑いながら楽しいレクを学べてよかった」と声があり、皆様の今後の活動に活用し、笑顔と健康を上げていただきたいと思います。

**生活福祉資金のご案内**

生活福祉資金貸付制度は、厚生労働省の要綱にもとづき、他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯の方々へ、資金の貸付けと必要な相談・支援により、経済的自立と生活の安定を目指すことを目的とし、「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類があります。対象となる世帯は「低所得世帯」「障害者世帯」「高齢者世帯」で、資金の種類、使途内容により貸付要件が違い、世帯状況だけで貸付要件に合致するかどうか判断することができませんので、詳しくは下記窓口までご相談ください。

相談窓口：社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会 相談支援業務担当

TEL 0153(79)1231 FAX 0153(79)1233

## 東町内会編(夜間の部)

【ワンポイント】～暗闇での作業は手元が見えず大変でした。懐中電灯は非常時に欠かせない必需品です！

午後4時～午後8時まで、東町内会館にて今回初の試みとなる「夜間」に実施しました。夜間は気温も下がり電気もない中、懐中電灯、ランタンのみを頼りに、男性は暖をとるため薪や枯葉で火を起し、女性は手先が冷える水仕事を創意工夫しながら率先して行っていました。



「紙を丸めて米を空き缶に詰めています」

空き缶の米は水の他、緑茶、コーラで炊き上げ試した感想は、緑茶は美味しいと好評でしたがコーラは・・・。

また、同時に社協が持参した非常食の「わかめごはん」をお水とお湯のどちらで作るのか考えていただき、お湯を沸かす手段など知恵を出し合い、慣れない暗闇のなか皆さんで分けあって食べることの大切さも学びました。



「炭が燃えるまでうちわで煽りました」



「冷水で米研ぎ」



「グツグツ加熱中」



「少年も参加！」



「便利な非常食」



講師の山口 幸雄 氏より、空き缶の米は1回濯ぎ米の1.2倍の水を入れティッシュを丸めて蓋をしてから水がなくなれば出来上がり、缶を火から離して熱くない程度まで蒸らしました。時間に決まりはなく、感覚で覚えて子供にも伝えてほしいとお話がありました。

### ●東町内会参加者の声●

- ・今後、町内会館に非常食や家で使わない毛布を備蓄しようと思う。
- ・自分の住んでいる町内会に何があるのか今一度確認する良い機会となった。
- ・災害に対する意識が高まった。

湧水が2ヶ所あるから水は確保できる！



非常食のえびピラフが水を入れるだけで出来るなんて凄い！

缶で炊いたご飯も美味しい！！

非常食のカレーが温かくなることに驚いた。

災害時の対応について検討中の町内会の皆様是非お声掛けください。

#### ■問い合わせ先

社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会  
地域支援業務担当 TEL0153-79-1231



中標津町総合福祉センター『プラット』内に展示しています！

## 災害時から考える地域のネットワークづくり事業を行いました



平成25年10月12日(土)、災害救援ネットワーク北海道 代表 山口 幸雄 氏を講師に招き「西泉町内会」と「東町内会」でマグニチュード9.0、震度7の地震が発生し、水道は断水、電気は停電、ガスは停止した状態を想定しての防災訓練を行いました。この事業は、災害が発生した際の近隣住民同士での助け合いの大切さ、そのための関係づくりを目的として実施しており、今年度は更にそこから一歩前進し、より実際の「災害」をイメージしてもらうことに重点を置き事業を実施しました。

### 西泉町内会編(午前の部)

【ワンポイント】～空き缶切りが出来ない子供が両親や町内会の大人に習いできるようになりました！

午前9時30分～午後2時まで、西泉町内会避難所に集まり、今出来ることは何か？お腹が空いた時はどうするかを食糧班、燃料班、水確保班の3つの班に分かれて考えていただき、災害時に使えるような資源や身の回りにある道具の活用方法について様々な意見が挙がりました。

また、当日参加して頂いた町内会に「空き缶」をお持ちいただいて自分で火を起し空き缶で米を炊く炊き出しも行い、講師の山口 幸雄 氏から「チームワークがいいね！」と太鼓判をいただきました。



「空き缶でご飯を炊きました」

使えるものがほとんど何もない状況の中で実際に被害が出ている想定のもと、訓練を実施したことで災害に対する日々の備えと災害時の行動について考えていただく機会とすることができ、町内会の方々からは今後に向けて「町内会で味噌を作って備蓄しよう」「サランラップ、ガスボンベ、無洗米の備蓄を増やすように検討しよう」など様々な意見が出ました。

西泉にはパン屋、米屋もあるから食料は調達できる！



町内会行事で余った炭で火を起こせる！井戸水がある！

### ●西泉町内会から下記の結果報告便りをいただきました



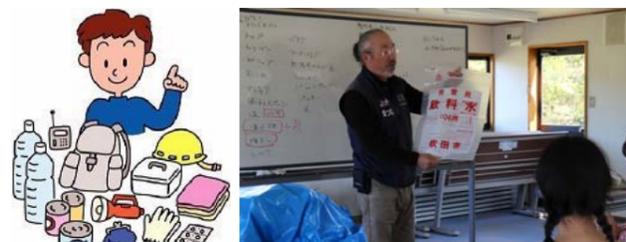
ビール缶、ジュース缶でご飯を炊いたが、予定時間40分で炊き上がり、食べても美味しかった。

西泉町内会自主防災会として保存・保管して置く機具、非常食等も明確になってきた。



災害救援ネットワーク北海道 代表 山口幸雄講師の講話も参考になった。

西泉町内会緊急避難場所経路(中標津運動公園内第2集会室)の確認、誘導訓練が出来た。



災害救援ネットワーク北海道 代表 山口 幸雄 講師

# あたたかい真心をありがとうございます



## 香典返しにかえて

高藤 以智子 様	関 矢 久 治 様	佐藤 トシエ 様	佐藤 毅 教 様
西田 悦子 様	谷 口 秀 顕 様	松尾 しげ子 様	花 尻 進 様
川上 節子 様	下 沼 弘 子 様	齊藤 栄子 様	高津 寛 様
阿部 勝男 様	新谷 静子 様	安達 勉 様	阿部 正博 様
渡辺 達子 様	細 矢 栄 司 様	山崎 貴信 様	柿本 輝昭 様
上野 和雄 様	茂木 哲也 様	青山 清子 様	藤渡 久雄 様
味元 正一 様	佐藤 邦彦 様	岡田 スエ子 様	坂本 トキ子 様
駒沢 ツヨ 様	鶴 卷 ラク子 様	池田 秀賀 様	豊間根 巧 様
木下 喜代 様	奥 山 景子 様	太田 成子 様	



## 篤志寄付

中標津ロータリークラブ 様

平成 25 年 11 月 30 日分まで掲載

## 収集ボランティアにご協力感謝いたします



## リングプル・使用済み切手・書き損じハガキ・テレホンカード・ベルマーク

矢 萩 義 江 様	成 沢 スズエ 様	菊 地 好 男 様	前 野 洋 子 様
満 永 恒 義 様	磯 田 よしゑ 様	齊藤 栄子 様	福田 親美 様
小山 幸子 様	山 本 智 也 様	守 田 美 和 様	青山 智和 様
太田 恵美子 様	中 谷 姫 乃 様	重 松 麗 子 様	松本 隅雄 様
中野 タエ子 様	大 寺 信 一 様	村 上 恵 子 様	渡 辺 けい子 様
河 村 澄 子 様	小野瀬 千鶴子 様	遠 藤 ハル子 様	
住友生命中標津中央支部 様	フコク生命 様	明治安田生命 様	
中標津桜ヶ丘楽寿クラブ 様	南町新生クラブ 様	中標津白樺町内会寿クラブ 様	
コマツ道東株式会社 様	俣落老人クラブ 様	パークゴルフ遊ぼう会 様	
光農機 様	ジイテック 様	西町町内会 様	
雪印メグミルク(株)なかしべつ工場 様	(株)大地	ペットショップチワワン 様	

平成 25 年 11 月 30 日分まで掲載

## 今号の 一枚



10月6日(日)泉町会連絡協議会の主催で『合同レクリエーション』が行われました。今年は170名の参加があり、ジンギスカンを食べながら交流を楽しんでいました。